

平成 24 年 12 月 21 日	<b>病虫害発生予報</b> <b>1 月号</b>	茨城県病虫害防除所 茨城県植物防疫協会
----------------------	-------------------------------	------------------------

農薬は専用の保管庫に鍵をかけて保管するなど、  
適切に管理しましょう。

< 目 次 >

<b>I. 今月の予報</b>	
<b>【注意すべき病虫害】</b>	
イチゴ：ハダニ類	1
促成ピーマン：うどんこ病	1
<b>【その他の病虫害】</b> イチゴ，促成ピーマン，促成トマト	2
<b>【防除所レポート】</b> 平成 25 年版果樹等病虫害参考防除例について	3
<b>II. 今月の気象予報</b>	5

本文に記載されている薬剤は平成 24 年 10 月 24 日現在のものです。  
最新の農薬登録内容は、(独)農林水産消費安全技術センターホームページの「農薬登録情報提供システム」([http://www.acis.famic.go.jp/index\\_kensaku.htm](http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)) で確認することができます。

詳しくは、病虫害防除所へお問い合わせ下さい。  
茨城県病虫害防除所    Tel : 029-227-2445  
予報内容は、ホームページでも詳しくご覧いただけます。  
ホームページアドレス <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/>

## I. 今月の予報

### 【注意すべき病害虫】

#### イチゴ

#### 1. ハダニ類

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
平年並	やや多い	県下全域

[予報の根拠]

- ① 12月中旬現在、被害葉率、発生地点率ともに平年よりやや高い。

[防除上注意すべき事項]

- ① ハダニ類は増殖が速いので、発生が少ないうちに防除を徹底する。  
② 薬剤は、薬液が葉裏や葉柄にもよくかかるよう十分な量で丁寧に散布する。また、薬剤抵抗性の発達を抑えるため、気門封鎖剤を除き同一薬剤の連用を避ける。  
③ ミツバチ導入及び天敵放飼後の薬剤防除は、ミツバチ及び天敵への影響に十分注意する。

#### 促成ピーマン

#### 1. うどんこ病

[予報内容]

発生時期	発生量	発生地域
平年並	やや多い～多い	鹿行地域

[予報の根拠]

- ① 12月中旬現在、発病度は平年よりやや高く、発生地点率は平年より高い。

[防除上注意すべき事項]

- ① 発生が多くなると防除が困難になるため、発生が少ないうちに防除を徹底する。  
② 罹病部は新たな伝染源となるため、できるだけ発病葉を取り除き、ハウス外に持ち出して適切に処分する。  
③ 薬剤は、薬液が葉裏や葉柄にもよくかかるよう、十分な量で丁寧に散布する。また、薬剤耐性菌の出現を防ぐため、系統の異なる薬剤を散布する。

【その他の病害虫】

作物	病害虫名	発生予想	発生概況及び注意すべき事項
イチゴ	うどんこ病	発生量：平年並	12月中旬現在，平年並の発生である。
促成ピーマン	アザミウマ類	発生量：平年並	12月中旬現在，平年並の発生である。
促成トマト	黄化葉巻病	発生量：平年並 ～やや多い	12月中旬現在，平年並～やや多い発生である。また，媒介虫であるタバココナジラミも平年並～やや多い発生である。発病株はただちに抜き取り，タバココナジラミの防除を徹底する。

## 平成 25 年版果樹等病害虫参考防除例について

果樹等病害虫参考防除例は、主要な病害虫の発生生態および平年の発生状況に基づき、薬剤耐性・抵抗性の発達の回避などを考慮し、効果的な防除時期と薬剤を選定して示しています。一方で、過度の農薬散布を防ぎ、周辺作物へ農薬が飛散するリスクを下げるためにも、スケジュール散布は避ける必要があります。そこで、参考防除例の活用にあたっては、環境にやさしい防除技術を導入した上で、必要に応じて農薬による防除を行うようにしましょう。そのためには、病害虫防除所の発生予察情報や自分の圃場における病害虫の発生状況を十分確認することが重要です。

平成 25 年版の主な変更点は以下のとおりです。防除にあたっては、変更点に十分に注意しましょう。

### 赤ナシ無袋栽培

- ・黒星病の重要な防除時期のひとつは 4 月中旬～5 月上旬です。4 月の防除薬剤は従前と同じですが、その後の防除をさらに補完強化するため、[新梢伸長開始期 (5 月上旬)] の殺菌剤をユニックスZ 水和剤に、[5 月中旬] の殺菌剤をチオノックまたはトレノックスフロアブルに変更しました。

＜ナシ黒星病防除のポイント＞

ナシ黒星病は、りん片脱落直前と落花期、7 月中旬（ハウスナシではりん片脱落直前と被覆除去、新梢伸長停止期）が最も重要な防除時期ですので、薬剤散布を確実に実施しましょう。また、前年多発生した園では、秋～冬期の落葉処理とともに、催芽～萌芽期の薬剤防除を確実に実施しましょう。

- ・ナシヒメシクイの防除は、7 月下旬にも必要であることが明らかになりました。このため、[果実肥大最盛期 (7 月下旬)] にディアナWDGを追加しました。

### 露地巨峰

- ・降雨等により散布時期を逸さないよう、[落花後] のレーバスフロアブルを [開花終期 (6 月上旬)] に散布するように変更しました (図 1 参照)。
- ・薬剤散布が幼果期以降に遅れると果実の汚れが生じるおそれがあるので、散布が遅れないように、時期 [小豆粒大期] を [落花後～小豆粒大期まで] に変更しました。また、果実の汚れが生じる可能性を低くするため、同時期の殺虫剤をアドマイヤー顆粒水和剤 10,000 倍液に変更しました。

平成24年版

時 期	対 象 病 害 虫	薬 剤 名 と 希 釈 倍 数
開花終期 (6月上旬)	ナ ミ ハ ダ ニ カ ン ザ ワ ハ ダ ニ フ タ テ ン ヒ メ ヨ コ バ イ チ ャ ノ キ イ ロ ア ザ ミ ウ マ	コテツフロアブル 2,000倍液
	灰 色 か び 病	パスワード顆粒水和剤 1,500倍液
落花後	べ と 病	レーバスフロアブル 3,000倍液
小豆粒大期	チ ャ ノ キ イ ロ ア ザ ミ ウ マ	アドマイヤー水和剤 1,000倍液
	べ と 病 褐 斑 病 晩 腐 病 灰 色 か び 病	オーソサイド水和剤80 800倍液

平成25年版

時 期	対 象 病 害 虫	薬 剤 名 と 希 釈 倍 数
開花終期 (6月上旬)	ナ ミ ハ ダ ニ カ ン ザ ワ ハ ダ ニ フ タ テ ン ヒ メ ヨ コ バ イ チ ャ ノ キ イ ロ ア ザ ミ ウ マ	コテツフロアブル 2,000倍液
	灰 色 か び 病	パスワード顆粒水和剤 1,500倍液
	べ と 病	レーバスフロアブル 3,000倍液
落花後～小豆粒大期まで	チ ャ ノ キ イ ロ ア ザ ミ ウ マ	アドマイヤー顆粒水和剤 10,000倍液
	べ と 病 褐 斑 病 晩 腐 病 灰 色 か び 病	オーソサイド水和剤80 800倍液

図 1 露地巨峰病害虫参考防除例の主な変更点

※記載された平成 25 年版の農薬の登録内容は、平成 24 年 10 月 24 日現在のものです。

## ウメ

- ・剤型変更により，[開花終期] のモスピラン水溶剤をモスピラン顆粒水溶剤に変更しました。
- ・バイコラール水和剤が販売終了のため，[幼果期（4 月中～下旬）] のバイコラール水和剤をスコア顆粒水和剤に，[5 月中旬] のスコア顆粒水和剤をインダーフロアブルに変更しました。

## リンゴ

- ・平成 23 年に県内 4 圃場のうち 2 圃場で，リンゴ褐斑病のチオファネートメチルに対する耐性菌の発生を確認しました。このため，[6 月中旬：注意事項欄] のトップジンM水和剤（有効成分がチオファネートメチル）の記載を削除しました。

### <リンゴ褐斑病防除のポイント>

現在のところ耐性菌の発生は県内一部地域でのみの確認ですが，耐性菌の発生を抑えるため，チオファネートメチル剤の使用には十分注意してください。褐斑病は，6 月上旬～7 月下旬が重要な防除時期です。落花 30 日後（6 月上旬）の薬剤散布は，時期を逃さず実施しましょう。6 月中旬～7 月上旬の間に褐斑病がみられる園では，追加散布を実施するなど防除を徹底しましょう。

## チャ

- ・チャトゲコナジラミは，他県ですでに発生が確認されていましたが，本県では平成 24 年 7 月に，県西地域のチャ栽培園で発生が確認されました。このため，注意事項欄に参考事項を記載しました。なお，チャトゲコナジラミに関する詳細情報は，農林水産省のホームページに掲載されている「チャの新害虫チャトゲコナジラミの防除対策マニュアル」を参考にしてください。

## ハウスナシ・雨よけ巨峰・カキ・クリ・ナシ病虫害防除回数削減のトライ事例

- ・大きな変更点はありませぬ。

## II. 今月の気象予報

### 関東甲信地方1か月予報

(予報期間 12月15日から1月14日)

気象庁(12月14日 発表)

<向こう1か月の気温, 降水量, 日照時間の各階級の確率(%)>

[確率]

要素	予報対象地域	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信全域	50	30	20
降水量	関東甲信全域	30	30	40
日照時間	関東甲信全域	40	30	30

[概要]

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。また, 2週目は気温がかなり低くなる可能性があります。

<1週目の予報> 12月15日(土曜日)から12月21日(金曜日)

気温 関東甲信地方 平年並の確率50%

<2週目の予報> 12月22日(土曜日)から12月28日(金曜日)

気温 関東甲信地方 低い確率70%

<3週目から4週目の予報> 12月29日(土曜日)から1月11日(金曜日)

気温 関東甲信地方 低い確率40%

### 農薬を使用する際は

- 1 使用する農薬のラベルを必ず確認し, 適用作物, 使用方法, 注意事項等を守りましょう。
- 2 散布時には, 周辺作物に飛散(ドリフト)しないよう注意しましょう。
- 3 農薬の使用状況を正確に記録しましょう。
- 4 使用後は散布器具やホース内等に薬液を残さず, 良く洗浄しましょう。